



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2021
6月号

●発行／一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作／株式会社日本医療企画

お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

基調講演

東日本大震災から10年
栄養管理の最前線と栄養経営士に
求められる実践



公益財団法人仙台市医療センター
仙台オープン病院
院長
土屋 誉氏

2001年、胃がん・大腸がん症例でのTPNを原則廃止し、胃がんは術後第1病日から早期経腸栄養を開始しました。また栄養はすべての治療の基本という理念から全病棟を回る『栄養パトロール』を始めました。それから20年が経過して当時1名だった管理栄養士も6名に増え、病棟配置が可能となりました。NST活動は全国に普及し、仙台東部栄養サポートネットワークという地域連携を目指した組織を作り、胃ろうパス、褥瘡パス、口腔ケアパスも作成しました。これまでの蓄積したデータなどを紹介し、この20年を振り返りたいと思います。

特別講演

新型コロナウイルスの最新事情と
栄養分野に期待される役割



岩手県立中央病院
院長
宮田 剛氏

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、ワクチン接種で抑え込む作戦しかなさそうですが、全ての基盤としての栄養の重要性は改めて感じます。感染症が重症化するような合併症を回避するための日頃の健康管理の問題。感染して隔離されている間の栄養と運動の問題。重症化した場合の栄養管理の問題などです。それぞれの局面に管理栄養士が関与していく余地はまだ大いにあると思いますので、その可能性のお話をしたいと思います。

第6回「全国栄養経営士のつどい」仙台大会開催直前情報

仙台に集まり仲間とともに コロナ後の栄養経営を考えよう

第6回「全国栄養経営士のつどい」仙台大会(於：ハーネル仙台(宮城県仙台市)／オンライン配信)の開催が来月の7月18日(日)と近づいてきた。今回はプログラムに関する追加情報を紹介するとともに、基調講演の土屋誉氏(仙台オープン病院院長)、特別講演の宮田剛氏(岩手県立中央病院院長)からのコメントが届いたのであわせて掲載する。

仙台大会の開催まで1カ月を切り、事務局では当日に向けて着々と準備が進められている。「栄養経営士による実践報告」では全国各地から続々と発表者が決定、それぞれ会場およびオンラインで実践報告を行う予定である。病院、施設、企業など、それぞれの環境でいろいろな悩みを抱えつつ、果敢に課題に取り組み仲間たちの発

表を、ぜひライブで確認して欲しい。発表のあとには質疑応答の間も用意しているのので、発表内容で気になることがあれば、どんな質問していただきたい。

に参加登録いただいた方々に前もって案内を送り、宮澤靖代表理事をはじめとする登壇者や全国にいる仲間たちに聞いてみたい、相談してみたいことを募集し、当日はそれについてみんなで話し合う。一人栄養士の職場や、管理職となって相談相手がいらないなど、どこにも話せない日ごろの悩みや困りごとなどがあれば、ぜひ記入して

送っていただきたい。また、事前募集のほか当日の参加者からも質問を募集するので、そちらもあわせて活用して欲しい。

もうひとつ、今年は新しい試みとして、会場・オンライン配信というハイブリット開催だけではなく、当日都合がつかず参加できない、もしくはすべてのプログラムを視聴する時間がないという方のために、開催後にオン

デマンドで大会をご覧いただけるような準備を進めている。こちらは詳細が決まり次第、協会のホームページでお知らせする。

第6回「全国栄養経営士のつどい」仙台大会

参加受付中

開催日：7月18日(日) 大変革期を乗り越える新時代の栄養経営
—— 栄養経営士に課せられた役割を考える ——

◆全国栄養経営士のつどい
10:00~16:15 (9:30 受付開始)

★オンデマンドでも
ご覧いただけます！

◆事前参加登録料

日本栄養経営実践協会会員 5,000円(税込)
栄養経営士資格認定基礎講習修了者 6,000円(税込)
一般 7,000円(税込)

会場：ハーネル仙台

(宮城県仙台市青葉区本町2-12-7)

※現地とオンラインの
ハイブリッド形式で開催します。

お問い合わせ・
参加申込はウェブから

<https://www.nutrition-management.jp/gathering/>



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

NME REPORT

栄養経営士 活動報告

結果を出して信頼を得て多職種連携を推進 パスへの導入で件数も意欲もアップ



有坂 香澄さん

高度急性期から療養病棟及び精神神経科病棟も有するケアミックス型の2次救急病院の栄養科に所属する栄養経営士の有坂香澄さん(佐野厚生総合病院栄養科)は、他職種との連携を深めながら、医療の一翼を担う管理栄養士として院内でしっかりと存在感を示しています。ここに到達するまでにどのような工夫があったのか、有坂さんにお話をうかがいました。

看護師、医師と連携の輪を広げつつ 自分の責務をしっかりと果たす

最初に病棟に行くときは、慣れない環境だったこともあり、一歩踏み込むことが大変でした。看護師も医師も多忙なので、声を掛けるタイミングがわからないし、人数が多いので顔と名前を覚えることがまず大変で。担当看護師がわかってもらい、その人が見つからないこともあり、慣れるまではなかなか大変でした。

そんなときにベテランの看護師さんが気にかけてくださって、声を掛けていただけたことがとてもありがたかったです。そのうちに患者さんの食事内容の相談をしてくださるようになり、それに対する提案で良い結果が出ると「食事のことは栄養士に頼めばよい」と思っていただけで、少しずつ相談が増えました。

また、看護師さんに間に入ってつないでいただ

くことで、医師にも病棟内での存在意義がアピールできるようになりました。なかには経管栄養のプランやスケジュールを任せてくれる先生もいらっしゃいます。もちろん心配な部分は確認しますが、こちらで考えたものが基本的に採用していただけるので、重責がある反面、非常にやりがいも感じています。

すべての期待に応えるのは難しいですが、主要なところから少しずつ、しっかりやることを心掛けています。それが良い結果につながれば他の先生の目にも留まるはずなので、できるところから広げていきたいです。

クリニカルパスへの栄養指導の導入で 栄養指導件数が増えスタッフの意欲も向上

さまざまな職種との連携が深まり、チーム医療のなかで管理栄養士としての立ち位置が明確になってきたところで、消化器外科の先生から術後の食事開始のスケジュールや栄養指導をパスに入れてはどうかと声を掛けていただきました。

コロナ禍で予約入院が減少するなかでも、消化器外科の栄養指導件数は前年より1.4倍になるなど、パスに導入できたことによる成果も出てきますし、パスに導入されたことで自分たちの業務がきちんと認められた、という感覚もあって、栄養科のなかでも少しずつ意識が変わってきたと感じて

います。

特に変わってきたのは、私も含めて栄養科のなかで「学ぶことへの意欲」が上がってきたことです。病態栄養の専門栄養士を取るなどプラスアルファの資格取得を目指すという流れができて、スタッフのみんなが前向きになってきました。

退院後も栄養サポートを継続し患者の力に

今後は、術前・術後の外来の栄養指導に力を入れていきたいと考えています。退院後、クリニックではカバーできない患者さんには継続してサポートしたいと考えており、「いいことがあるなら栄養士さんの話を聞こうかな」という気持ちを引き出し、ける関わり方ができればと思っています。

例えば、外来で化学療法を受けている患者さんであれば、食事の悩みに「栄養士が力になってくれる」ということを伝え、結果を出していければと考えています。

★より詳しい内容が協会の
サイトでご覧いただけます



【病院概要】

佐野厚生農業協同組合連合会佐野厚生総合病院
栃木県佐野市堀米町1728
URL <http://jasanoko.or.jp/>
病床数:531床(一般376床、感染症4床、精神51床、療養型100床)

★当協会の宮澤靖代表理事が実際の症例をもとに症例の見(診)かたを解説! 栄養経営士必見!!

患者の体内で起こっていることを知り、チーム医療で貢献できる管理栄養士になる!

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー

「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



講義内容

- 1) Evidenceで見る(診る)栄養サポートの重要性
栄養介入に関する海外の報告例/DRM(Disease Related Malnutrition:疾患関連栄養不良)/入院患者の低栄養頻度/体格の変化/心不全患者の追跡調査の報告例/外科手術によける免疫栄養の有用性 ほか
- 2) 症例1
78歳女性の場合/入院時所見/Refeeding 症候群/低リン血症の臨床症状/血清リン濃度の低下とヘモグロビンの酸素親和度の上昇 ほか
- 3) 症例2
81歳女性の場合/入院時所見/栄養アセスメント/入院時生化学検査/特定集中治療室での栄養管理の評価/留意事項/第2病日/生命維持デバイス ほか

宮澤靖

日本栄養経営実践協会
代表理事



栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っています。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

講師 宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会
代表理事、東京医科大学病院 栄養管理科 科長)

講義時間 約100分(全3動画)

受講料 4,400円(税込)

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン
※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

視聴期間 14日間

申込および詳細 <http://hcmi-s.net/weblesson-hcm/e01/>

※お申し込み時のお支払いにはPaypalへの登録が必要になります。お振込みをご希望の場合には事務局までお問い合わせください

※お申し込み・お支払いが確認できましたら、視聴サイトのURLとログイン用のID・パスワードをメールでお知らせいたします

※セミナー・講座動画は申込者ご本人のみ視聴可能です

※リアルタイムのセミナーではありません

申込・お問い合わせ先

日本ヘルスケア
経営学院事務局
(株式会社日本医療企画内)

TEL:03-3553-2862
E-mail:jissenkenkyu@jmp.co.jp



支部NEWS

東海支部

【東海支部】セミナーレポート

2021年度介護報酬改定に伴いさらに管理栄養士の活躍の幅が広がる!

支部研究会「2021年度介護報酬改定による高齢者施設栄養士お悩み相談会」WEB開催

東海支部では6月5日(土)に日本医療企画中部支社と共催で「2021年度介護報酬改定によるお悩み相談会」をWEBで開催しました。講師とファシリテーターを施設の管理栄養士が務め、全国各地から栄養経営士・管理栄養士が参加。限定15名の枠は満員で、少人数ながら密度の濃いセミナーが行われました。

加算をとるための体制づくりに向けて
参加者全員で意見交換し合い解決へと導く

2021年度介護報酬改定は管理栄養士にとって追い風改定となり、今後さらに管理栄養士の活躍の場が広がっていくと見られています。そこで施設での加算をとるための体制づくりにおいて、1人職場で悩みを抱える施設栄養士に向けた「2021年度介護報酬改定によるお悩み相談会」をWEBにて開催しました。

はじめに、元社会福祉法人慈恵会さわやかナースィング川辺の若宮美香氏が「介護報酬改定のポイント」を解説。管理栄養士が注目すべき内容について、施設・通所・居宅・栄養ケアステーションそれぞれ変更点を説明し、とくに栄養ケア・マネジメント強化加算についての仕組みを説明しました。

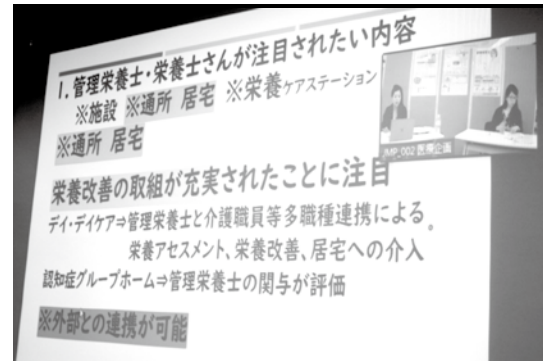
その後のお悩み相談では、ファシリテーターを務める社会福祉法人共愛会共愛の里の栗野祐衣

氏が自身の課題でもある「科学的介護情報システム(LIFE)の活用」と「栄養ケア・マネジメント強化加算をとるための体制づくり」をテーマに参加者と意見交換を実施。LIFE活用に伴う新しいシステムの導入、LIFEへの入力方法、加算により増える業務、他職種との業務連携など、各施設の課題と取り組み状況を共有しました。ここでは全員で情報交換することにより、悩みの解決や新たな課題・疑問の発見にもつながりました。

最後に若宮氏は「今後も管理栄養士が評価され続けるためには、これまでやってきたこと、今できることに積極的にアプローチして加算を取り、価値のある管理栄養士になることが大切。皆で情報共有しながら一緒に取り組んでいこう。また、加算によって管理栄養士の負担が増えてはいけな



元社会福祉法人慈恵会さわやかナースィング川辺の若宮美香氏(左)と社会福祉法人共愛会共愛の里の栗野祐衣氏



「介護報酬改定のポイント解説」ミニ講義では、管理栄養士/栄養士が注目すべき内容について説明

で、他職種と上手く連携を取りながら進めていこう」と話し、会を締めくくりました。

参加者のアンケートでは「加算をとるためにどうしたら継続していけるかのバランスが大切であると感じた」「周りに相談できる人がおらず、不安のなか手探り状態で進めていた。今回質問でき、とてもいい機会になった」といった感想をいただきました。

東海支部では、今後も勉強会だけでなく、一人職場の多い管理栄養士さんが気軽に相談できる場を設けて課題解決へと導けるような相談会を開催し、栄養経営士・管理栄養士が交流できる場をつくっていく予定です。

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

思いを伝えるコミュニケーションのためにまずは相手を良く知ろう!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第6回は5月26日(水)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、真壁昇理事、山下茂子理事、またゲストとして関西支部の役員でもある看護師の浅田宗隆氏(松下記念病院看護部)が出席し、参加者から寄せられた質問や悩みに対し、みんなで語り合いました。

この日最初のお悩みは「医師や看護師など、他職種への依頼やプレゼンの際に思いが伝わる話法や技術のポイントについて教えて欲しい」というもの。ゲストとして参加していた浅田氏は「看護師は感情で動く人が多く、数字を出して説明されても頭に残らないことがある。看護師にプレゼンするなら、お互いがわかる共通の言語を使って説明して欲しい。また、相手の仕事内容やスケジュールがわからないと伝えられないので、まずは相手を知ることが重要。一緒にゴールに到達できるようなプレゼンをして欲しい」と看護師側の視点で答えました。

医師の立場からは、吉田理事が「エビデンスは大切だが、あまり数字でゴリゴリ来られると医師のプライドが傷つく場合があるかもしれない。相手に敬意を表しつつ、話を聞いてもらえたら先生にもメ

リットがありますよ、みたいな感じでいけるといいかも」とアドバイスしました。

次に指名を受けた宮澤代表理事は「看護師は忙しいので、短時間で過不足なく話すと同時に、患者にとってメリットがあると伝わるような話し方が良い。例えば『ガイドラインでは～』よりも『あのおばあちゃんはこっちの味の方が好き』の方が伝わる。あとは正しい日本語で丁寧な対応を心がけて」と具体例を挙げて説明しました。

最後に山下理事が「失敗を重ねて成長するものだから、その過程を大事にして欲しい。1回の失敗で挑戦しなくなるのが一番良くない。あとは、ちゃんと準備をして、自分で理解してから行くこと。本心にわかっている人は、ちゃんとわかりやすく説明できる」と話し、事前準備の重要性を説きました。

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」という故事もありますが、誰にアピールするにしても、まずは相手を知ることから。そして、何を伝えたいのかをしっかりと自分で確認・準備しておくことが“伝えるコミュニケーション術”のポイントになるようです。ぜひ実践してみてください。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼5月26日(水)の話題

- ・嗜好調査のアウトカム評価を意識した調査項目の設定の仕方があれば聞きたい
- ・COVID-19の患者の栄養で、便が出ないときに下剤や座薬を使用しファイバーを提案しても却下される。どの段階でファイバー投与や半消化態栄養剤に変えているのか教えて
- ・慢性期から急性期に移った。しばらく急性期をはなれていたのでNSTの運営方法、事情のリアルを聞きたい
- ・NST専従がいなくて加算がとれていないので、効率良く書類作成するための工夫など加算取得に向けたヒントをください
- ・産科・小児科・透析が未経験で勉強を積みたい。良い研修や書籍があれば教えて
- ・意欲的に仕事をしない人に意欲的になってもらうためには、どのような声掛け、働きかけをすればいい?

■栄養経営士オンラインサロン 仙台大会特別版

- ◇開催日時:7月18日(日) 15:40~16:40(予定)
- ◇参加対象:第6回「全国栄養経営士のつどい」仙台大会参加者

◇受講料:参加料に含まれます

◇開催形式:仙台大会会場+オンライン(Zoom)

※オンライン参加の場合はカメラ・マイク機能が使えらるパソコン・タブレットなどをご用意ください

※個別の症例の相談にはお答えできません

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

北海道支部

新しい栄養部門をつくろう! ～3stepで学ぶマネジメント講座～

栄養部門の円滑な運営に必要なことをギュッと凝縮! お悩みを解決するヒントを見つける、栄養部門を円滑に運営していくために必要なことを凝縮した勉強会です。全3回でお届けする講座の最終回は「チームビルディング」「人材育成とこれからの専門職のあり方」について学びます。

- 日 程: 7月17日(土) 13時30分～15時30分
- 講 師: 石井富美氏(摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
- 形 式: オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込): 【会員】3,000円 【一般】4,000円
- お問い合わせ: 株式会社日本医療企画 北海道支社(担当:横尾)
- TEL:011-223-5125

協会事務局より

2021年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費: 有効期限が2020年8月20日～2021年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新: 会員資格が2018年8月20日～2021年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限: 2021年7月19日(月)までに指定口座へ振り込み
- お問い合わせ: 一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL: 03-3553-2903

管理栄養士業務改革セミナー【給食管理編】

栄養管理につなぐ給食管理の業務見直しポイント

栄養科の収入は給食管理が主であることや、給食運営が適切にされていないと病棟活動、臨床ができないことから、給食管理業務を見直し、改善していく必要があります。また、2021年度介護報酬改定により栄養加算をとるための業務改革が求められます。

「給食管理に時間がとられ、栄養管理に手が回らない」「今の給食管理のやり方が正しいのか不安」など給食管理に悩みを抱える病院・施設栄養士に向けて、給食管理の業務見直しポイントをお伝えします。一人ひとりが栄養経営の視点を持って、今後も活躍できる管理栄養士を目指していきましょう!

講師



JA愛知厚生連豊田厚生病院
栄養管理室栄養管理第1課長
森 茂雄氏

もし上げお●管理栄養士 / 社会福祉士 / ケアマネジャー / 在宅栄養専門管理栄養士 / 日本臨床栄養代謝学会評議員 / 栄養経営士

7月24日(土) 10時00分～11時30分

- 受講料: 【会員】3,000円 【一般】4,000円 【一般】2,000円
- 開催方法: 会場+オンライン配信 (Zoom使用) ※オンラインはライブ配信のみです
- 定 員: 会場: 限定10名 オンライン: 200名
- 主 催: 株式会社日本医療企画中部支社
- 後 援: 一般社団法人日本栄養経営実践協会東海支部
- お問い合わせ: 日本栄養経営実践協会東海支部
(日本医療企画中部支社内)
担当: 山田 TEL: 052-209-5451

お申込みは
こちらから



★こんな悩みをお持ちの病院・施設の 栄養士さんにおすすめ!

- ◆今の給食管理が正しいのか不安
- ◆給食管理に時間がとられて、病棟に行きたくても行けない
- ◆給食管理業務を見直したい

新人・後輩研修や業務の標準化、仕組みづくりをしていきたいベテラン栄養士さんも、ぜひご参加ください!

2021年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式に変わります!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日: 2021年3月22日～ ※毎日受験可能
- 受験料: 9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法: IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間: 2021年3月1日～(通年)
- 受験資格: 管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904